

第110回 紫友まち歩き

江戸時代に人気の大山道界隈を歩く

「渋谷から三軒茶屋」天空庭園

日時 2025年10月18日（土）

集合時間 午後1時30分集合

集合場所 JR渋谷駅中央改札口前

まち歩き参加者 16名

懇親会参加者 14名

案内人 山口(025D)

懇親会場所 リザラン

歩いた歩数 12,520歩

コース

渋谷駅 → 大山道渋谷起点 → 渋谷区文化総合センター → 代官山T-SITE → 東京都立第一商業高校 → 西郷山公園 → 菅刈公園 → 目黒天空庭園 → （バス） → 大山道道標 → 三軒茶屋の三軒の茶屋 → キャロットタワー → 打ち上げ会場

大山道について

大山詣は、江戸時代の人口約100万人のうち、毎年20万人が訪れたという人気の行楽でした。今回は渋谷宿から三軒茶屋まで、その一部を歩くコースです。

渋谷駅～大山道渋谷起点

JR中央改札口を出てスクランブルスクエア2階に降り、渋谷警察署前交差点へ。グーグル本社ビルを見上げながら、新しく生まれ変わった渋谷ストリームに立ち寄り、渋谷川を眺めます。



渋谷はもともと谷で、周囲の雨水が集まる地形でした。大山道の起点は渋谷で最も低い場所にあります。近年の豪雨でも冠水しなかったのは、駅東口ターミナル横に巨大な貯水施設が整備されたためです。



かつては汚れた印象の箇所のあった渋谷も、再開発によって徐々に整備され、美しい街並みへと変貌を遂げつつあります。松濤・神山町の住民に加え、新しい渋谷を支える新住民たちの暮らすエリアを歩いていきました。





渋谷区文化総合センター

かつて渋谷駅前にあった東急文化会館に設置されていたプラネタリウムが展示されています。図書館、ホールなどの複合施設です。



ラ・トゥール代官山付近



美しい外観の高級賃貸レジデンスです。建物の写真撮影は制限されています。個人の記録目的での撮影は本来問題ありませんが、住民の迷惑になる場合は控えます。家賃はおよそ月額120万円（約120㎡）～

500万円（約500㎡）。日本で最も高額な賃貸の一つとされます。設計は住友不動産です。

代官山T-SITE

蔦屋書店代官山店を中心とする複合施設。「書店でありながら文化拠点」というコンセプトで、革新的な空間づくりが特徴です。



東京都立第一商業高校

「天下の一商」と呼ばれる商業教育の名門校。小石川高校の前身・東京府立第五中学校とほぼ同時期に設立され、私たちの母校と共に誕生しました。



西郷山公園

美空ひばり邸の脇を通って、公園に向かいました。西郷隆盛の実弟・西郷従道が当地を所有していたことが名前の由来です。晴天時には富士山まで見渡せます。



菅刈公園

こちらも西郷従道の邸宅跡地。美しい日本庭園と和室が整備され、都会の喧騒を忘れる静寂な空間です。



スターバックス リザーブ ロースタリー 東京

世界で5店舗のみの特別仕様スターバックス。設計は隈研吾氏、施工は鹿島建設によるものです。



目黒川

水質が改善され、川沿いの緑道は整備されています。



目黒天空庭園

首都高速大橋ジャンクションの屋上を緑地化した公園。見晴らしが良く、独創的な設計で知られます。



建築施工に共同体の一社として関わった鹿島建設に元勤務の荻原さんから、構造や工法に関する説明を伺いました。



三軒茶屋の三軒の茶屋

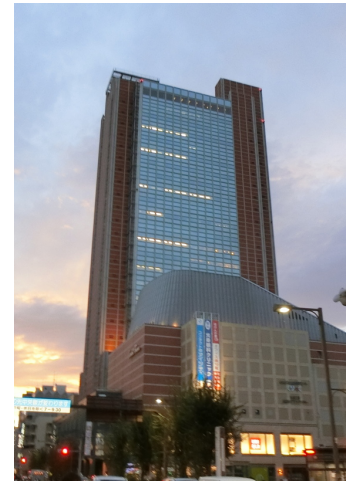
大山道と登戸道の分岐点に、「信楽（しがらき）」「角屋（かくや）」「田中屋（たなかや）」という三軒の茶屋が並んでいたことが地名の由来です。道標の前でその痕跡を確認しました。

以前三軒茶屋を案内された脇田さんによると、この道標の向きは変更されたそうです。



キャロットタワー

世田谷区を代表する高層ビルの一つ。区と地元地権者、東急グループの協議によって建設されました（施工：東急建設・大成建設・鴻池組ほか）。名称



「キャロット」は公募で決まり、「人参＝元気の源」と「壁面のオレンジ色」に由来します。

最上階は一般開放されており、世田谷線や丹沢山系まで一望可能。ラジオのサテライトスタジオも併設されています。美しい夕陽を眺めた後、夕食会場へ向かいました。



夕食

リザラン 三軒茶屋店にて、スペイン料理とワインを楽しみました。食事をしながら、将来の訪問先「千葉の景勝地」についても話し合いました。

